

1 「毎月1点検運動」 ～みんなで減災対策～

毎月1点検運動 9月テーマ 『災害医療・救急救命』

9月9日は救急の日です。

救急箱の確認をはじめ、止血や骨折、やけどなどの応急手当の方法を身につけましょう。

正しい人工呼吸や心臓マッサージの方法、AEDの使い方といった心肺蘇生法も学んでおきましょう。

心停止の
予防 早い
119番通報
早い心肺蘇生法
とAED
救急隊や
病院での措置



とくしま災時記（9月編）

2011(平23)年 9/1～4 台風12号(死者3名)
1976(昭51)年 9/8～13 台風10号(死者10名、全壊流出187棟)
1961(昭36)年 9/16 第二室戸台風(死者11名ほか記録的高潮)
1950(昭25)年 9/3 ジェーン台風(死者・行方不明者38名)
1945(昭20)年 9/17 枕崎台風(死者・行方不明者47名)

救命の連鎖



急な病気などで倒れた方の救命率を上げるためには、「救命の連鎖」と呼ばれる4つの輪が、途切れることなくつながることが必要です。

個人でできる「心肺蘇生法」～あなたの行動で、助かる命を助けることができます！～

○意識がない人を見つけたら、
勇気を出して、まずは
呼びかけましょう！

○大声で呼びかけて
意識を確認します。



○反応がなければ、
周りの人に119番通報とAEDを
持ってくることを頼みましょう。



○近くAEDがなければ、
ただちに心臓マッサージを
行ってください。

○「AED」は、電源を入れると
音声流れますので、
その指示に従って
操作してください。



○「心臓マッサージ」は、
1分間に100～120回の回数で、
約5cm（6cmを越えない）の深さで
行ってください。

「救える命」を救うため「救急車」適正利用のお願い！！～その救急要請、本当に必要ですか？～

○本県の令和3年の「救急出動件数」は、34,099件(速報)で、令和2年から約6.7%増加。
1日当たりの出動件数は約93件。この10年間で、約8%も増加しています。

○令和3年の「救急搬送者」31,482人(速報)のうち、
約42%は、入院を必要としない「軽症」の方の利用でした。



※ 緊急性がなく、自分で病院に行ける場合は、救急車以外の交通機関等を利用してください。

また、救急車を呼ぶべきか判断に迷う場合は、徳島救急医療電話相談（#7119）、

または、徳島子ども医療電話相談（#8000）に電話してください。

ただし、命に関わる病気や怪我の場合は、迷わず119番通報をしてください。



持病をお持ちの方、障がい者、
高齢者、妊婦、乳幼児など
治療やケアの継続が必要な
いわゆる「災害時要配慮者」の方は…

- 避難時には「お薬手帳」を忘れずに！
- 主治医や介護機関などと、
「災害時の治療・ケア」について
確認しておきましょう。